主な仕様

Panasonic

コードレスステレオヘッドホン
取扱説明書
品番　RP-WH20H
増設用

●受信信号

赤外線波長	860 nm
変調方式	周波数変調
搬送波周波数	左チャンネル 2.3 MHz 右チャンネル 2.8 MHz

●ヘッドホン

型式	オープンエアー型 ダイナミックステレオヘッドホン
使用ユニット	直径 40 mm
電源	単４形乾電池×２
電池持続時間	マンガン乾電池（R03）約 20 時間 アルカリ乾電池（LR03）約 40 時間
質量	約 240 g（乾電池を含む）

●付属品

- 単４形乾電池（R03）×２
- 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	RP-WH20H
販売店名	☎（　）　－		
お客様ご相談窓口	☎（　）　－		

松下電器産業株式会社　オーディオ事業部
〒571-8505　大阪府門真市松生町１番４号

RQT4524-S
F1297K0(D)

このたびは、コードレスステレオヘッドホンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

適応機種
パナソニックの赤外線方式のコードレスステレオヘッドホンシステムの増設用ヘッドホンです。トランスミッター（発光機）なしで、本機（ヘッドホン）単独での使用はできませんので、トランスミッターと一緒にご使用ください。
Panasonic のコードレスステレオヘッドホンシステム **RP-WH20, RP-WH30, RP-WH50** **RP-WH80, RP-WH100 など**

乾電池を入れる

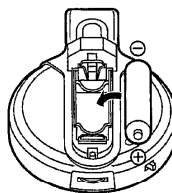
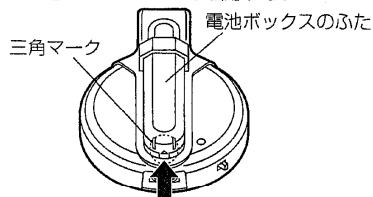
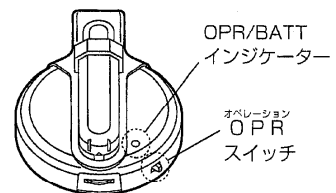
ヘッドホンの電源には単４形乾電池を２個使用します。ヘッドホン両側の電池ボックスに乾電池を入れてください。

乾電池の入れかた

1　三角マークの部分を押し上げて、電池ボックスのふたを開ける。

2　乾電池を極性表示通りに入れる。

⊖側を先に入れてください

3　電池ボックスのふたを閉める。

乾電池交換時期のめやす

乾電池の交換時期は、ヘッドホンの OPR（オペレーション）スイッチを OFF から ON に切り換えたときに、OPR/BATT インジケーターの点灯状態で確認できます。

また、乾電池が消耗してくると、音がひずんだり、雑音が多くなったりします。その場合は、新しい乾電池と交換してください。

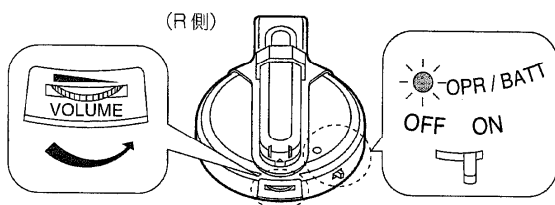
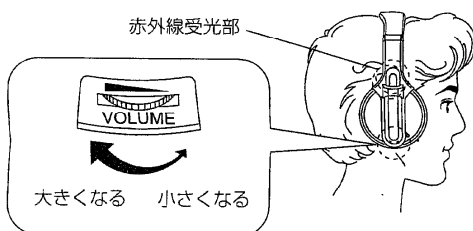
乾電池寿命	使用可能なとき	交換時期
OPR/BATT インジケーター	点灯する	点灯するが暗い または点灯しない

使う

1　トランスミッターの準備をする

詳しくは、トランスミッターの取扱説明書をご覧ください。

2　ヘッドホンの音量を絞ってからOPR（オペレーション）スイッチをONにする

OPR/BATTインジケーターが点灯します。

3　ヘッドホンを頭にかけて、音量を調節する

本機は赤外線を使用しているため、ご使用になる場所がトランスミッターから離れるにしたがって雑音（ヒスノイズ）が増えたり、また**赤外線がさえぎられた場合には音が途切れたり、雑音が入ることがあります。**これらの現象は赤外線の特性により生じるもので、故障ではありません。

お願い

- ヘッドホンはトランスミッターからの赤外線が届く範囲内でお使いください。
- 赤外線受光部を手や髪などで覆わないでください。
- 本機は赤外線を利用していますので、直射日光下ではお使いにならないでください。

使用後は

ヘッドホン、トランスミッター、接続したAV機器の電源を切ってください。

使用上のお願い

- 強い衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。
- 風呂場など湿気の多いところ、倉庫などほこりの多いところで使わないでください。
- 雨や水に濡らさないでください。機器の故障の原因となります。

お手入れ

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

本機

⚠警告

分解・改造しない

- 機器が故障したり、金属物がはいるとショートし、やけどや火災の原因になります。
- 点検や修理は、販売店にご相談ください。

⚠注意

音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところに長時間放置したり、ストーブの近くに置いたりしないでください。

乾電池

⚠注意

以下のことを守り正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **新旧電池や、違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液漏れが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

故障かな!?

まず、この表でご確認の上、直らないときはお買い上げの販売店へご相談ください。販売店へお持ちになるときは、**必ずヘッドホンとトランスミッターを一緒に**お持ちください。

●音が出ない	
AV機器の電源が入っていますか。	電源を入れてください。
トランスミッターとAV機器が正しく接続されていますか。	正しく接続して、プラグをしっかり差し込んでください。
音量が小さくなっていませんか。	ヘッドホンの音量を大きくしてください。
接続した機器の音量が小さくなっていませんか。	トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子に接続した場合は、接続した機器の音量を大きくしてください。
●音がひずむ	
音声信号の入力レベルが大きすぎませんか。	トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子に接続した場合は、接続した機器の音量を小さくしてください。
●雑音が多い	
●赤外線が届いていますか。 ●トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がありませんか。	トランスミッターの近くでヘッドホンを使用してください。
	赤外線受光部（ヘッドホン）を手や髪などで覆わないようにしてください。
	トランスミッターの位置や向きを変えてください。
音声信号の入力レベルが小さすぎませんか。	トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子に接続した場合は、接続した機器の音量を大きくしてください。
●音が出ない、音がひずむ、雑音が多い	
OPR/BATTインジケーターが暗い、または消えていませんか。	乾電池の寿命と思われますので、新しいものと交換してください。

本機についてのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

お客様ご相談センター

0120-878-365

フリーダイヤル（料金無料） 365日／受付9時~20時

International Customer Care Center
海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)
海外仕様商品(輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品)についてのご相談は....

TOKYO	☎ (03)3256-5444
OSAKA	☎ (06)645-8787